

日時：令和4年8月24日（水）

10時00分～11時10分

場所：青森県庁議会棟6階第1委員会室

[事務局]

本日は委員全員が出席のため、委員会成立となる。

[曾我委員長]

審議に先立ち、委員長の職務代理者を決めていなかったため、この場で諮る。推薦がなければ大矢委員にお願いしたい。

<異議なし>

[曾我委員長]

大矢委員にお願いする。では令和3年度業務実績評価についての審議に入る。

業務実績に関する年度評価は、当該事業年度における中期計画の実施状況の調査分析を行ない、その結果を考慮して、業務実績全体についての総合的な評価を行うことであり、当委員会が主体的に作成決定するものとなる。このため、法人から提出された業務実績報告書に基づき、ヒアリングという形で調査分析を行ない、各委員から評価意見を提出してもらったところ。

資料1は委員の意見を事務局がまとめたもの。

この案に基づき修正その他の意見交換も行い、最終的な評価書をまとめる。業務実績の評価の進め方としては、項目別評価を審議したうえで、全体評価の審議を行っていききたい。

### (1)教育に関する目標達成するための措置

[北山委員]

評価4として提出したが、評価としては5に近い。

[田中委員]

私も5に近いという意見。

[熊谷委員]

意見としては5として出しているが、保健大の意見もあるので、4で異論ない。

[曾我委員長]

私も意見としては5。評価の項目が五段階だが、現在、国立大学の評価では4と5の間のカテゴリーがある。「計画を上回っている」項目がある。もしそれがあれば確実に当てはまる。事務局に確認するが、この基準は中期計画期間中は変えないということによいか。

[事務局]

期間中は変えない。

[曾我委員長]

次の期の評価の時には4と5の間のところ、もう一段設けることも検討してほしい。

## (2)研究に関する目標を達成するための措置

[北山委員]

自分が出した意見だが、修正したい。公衆衛生学修士コースの関連は、(1)の教育分野に入るのではないかと考えられ、ここに書いてあるのは不適切かと思われた。改めて、「プロモーション戦略研究センターにおいて、大学院生や若手教員の支援と育成が着実、継続的に行われていることを特に評価する」としたい。

[大矢委員]

「プロモーション戦略研究センター」のことは別の箇所で触れているので、ここでは特に記載なしでよいのではないか。

## (3)地域貢献及び国際交流に関する目標を達成するための措置

[倉成委員]

昨年度もそうだったが、地域定着枠については、現在明確な課題があるというものではないので、「その他の意見」とするのが適切と思う。

## (4)業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置

(意義なし)

## (5)財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

(意義なし)

[北山委員] 職員宿舍の有効活用については今後も検討してほしいが、大学としてできる範囲は限られる。将来に向けて、活用するだけでなく効果的な対策の検討が必要と思う。

[三浦理事] 県とも相談していきたい。

## (6)教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価、並びに当該状況にかかる情報の提供に関する目標を達成するための措置

(意義なし)

## (7)その他の業務運営に関する重要目標を達成するための措置

(意義なし)

## 全体評価

(意義なし)